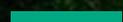
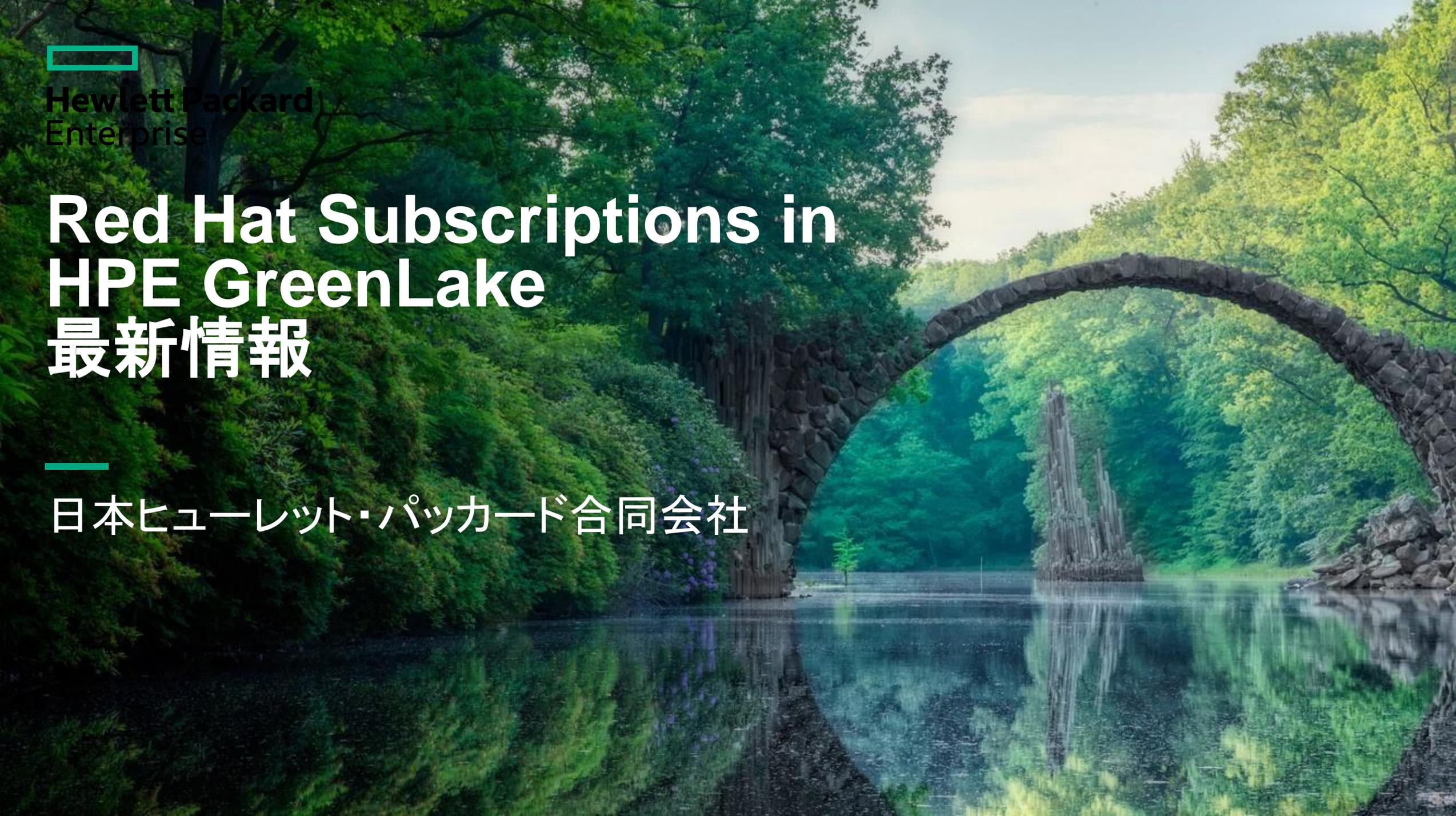


Hewlett Packard
Enterprise

Red Hat Subscriptions in HPE GreenLake 最新情報



日本ヒューレット・パッカーード合同会社



HPE and Red Hat – アライアンスの歴史

ビジネスを加速し、トランスフォーメーションを推進



HPE Vertical
Industry Momentum
Partner of the Year
2021

RED HATとHPEのパートナーシップ

#1

HPE製サーバ上で動作する
Red Hat® Enterprise
Linux®

#1

X86サーバ上で動作する
有償Linuxサブスクリプション

20+

20年以上にわたる
アライアンスの歴史

1K

1000人以上のHPE Global
サービス、およびサポート
に携わるHPE技術者

500

500人以上のRed Hat認定技術者

Awardの受賞

Red Hat Telco Ecosystem
Award Winner Field
Momentum Award

HPE Vertical Industry
Momentum Partner of the
Year 2021 Award

98%

のお客様からの問い合わせをHPE Servicesで解決



お客様事例：株式会社ジェーシービー様 次世代MyJCBサービス基盤

顧客接点を支える重要なサービス基盤を先進技術を駆使してモダナイゼーション

お客様のチャレンジ

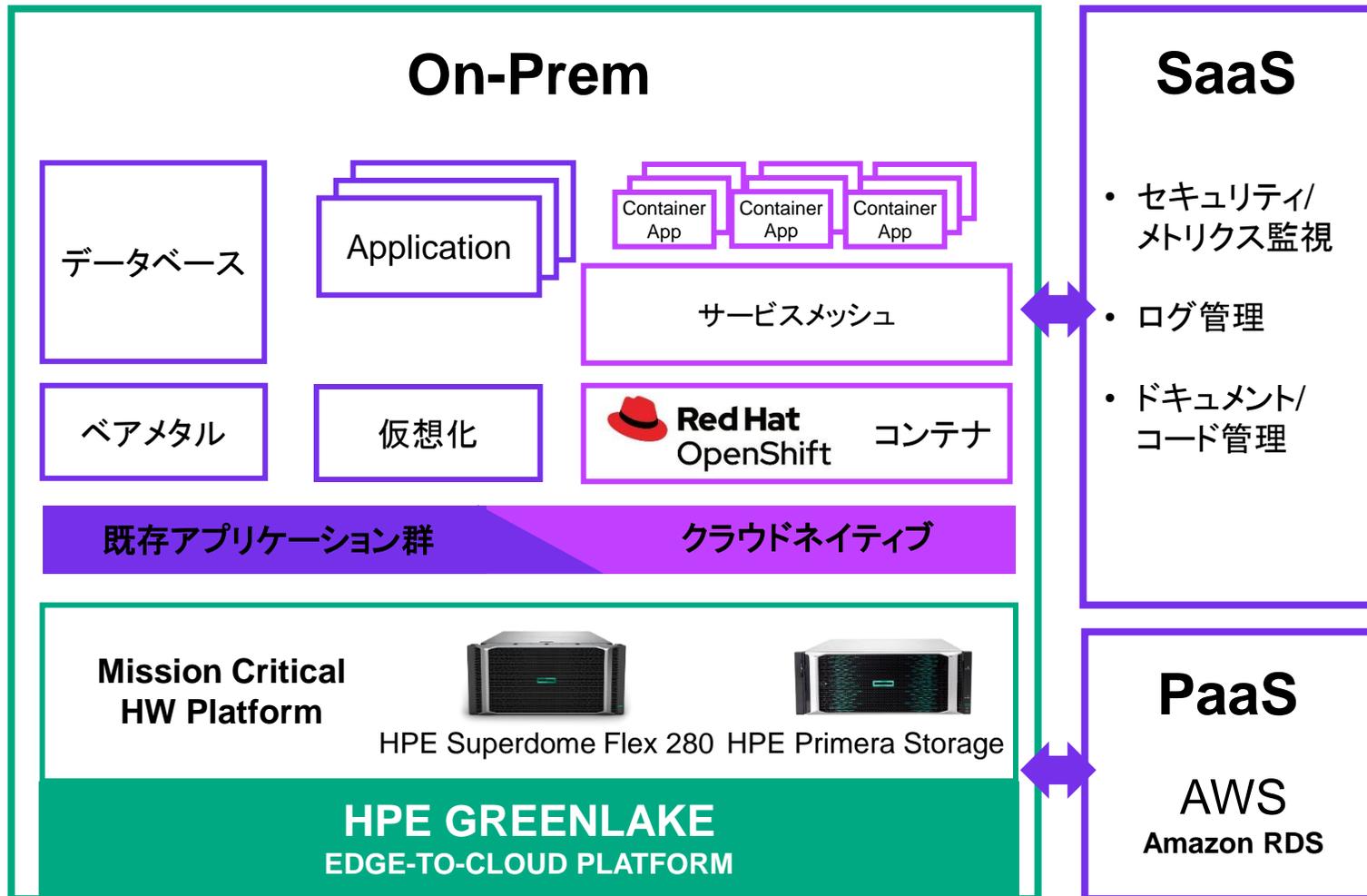
- 顧客接点を支えるサービス基盤を刷新
- 既存ITシステムは安定稼働の継続が必達
- 一方で、柔軟かつ高速なアプリケーション開発を強化が必要

お客様のアプローチ

- クラウドネイティブ技術を採用
- SaaSやパブリッククラウドを活用したマルチクラウド構成
- ミッションクリティカルなIT基盤としてHPE GreenLakeを採用

HPEが提供するソリューション

- HPE GreenLake
- コンサルティングサービス



ハイブリッドクラウド変革を加速するアライアンスの拡大



Red Hat



HPE 
GreenLake

オープンで実績のあるセキュアな
エンタープライズ向けITソリューションを
共同開発

- Red Hat OpenShift Container Platform
- Red Hat Enterprise Linux
- Red Hat Ansible Automation Platform

- Pay-as-you-Goモデル(従量課金制)
- 万全の保守サポート体制における協調
 - ✓ HPE GreenLake with Red Hat TAM
 - ✓ HPE Managed Service
- 実績豊富なコンサルティングサービス



Red Hat Subscriptions in HPE GreenLake(PAYG)

Pay-as-You-Goで提供可能なRed Hatサブスクリプション一覧

ソリューション	分類	課金単位	UoM	測定頻度
RHEL - RHEL - RHEL for SAP - RHEL for HPC - Satellite (旧Smart Management)	物理サーバ	2ソケット	CPU利用数 ^{(1)(注)}	15～60分毎
	仮想サーバ	2ゲストOS	現在測定不能	100% Reserved として課金
	Virtual Datacenter	2ソケット ゲストOS無制限 (VDC)	CPU利用数 ^{(1)(注)}	15～60分毎
	Satellite	ベースとなるRHEL利用量に応じて課金		
OpenShift Container Platform (OCP) OpenShift Platform Plus (OPP)	ベアメタル	1-2ソケット	CPU利用数 (Worker) ⁽¹⁾	15～60分毎
	VM	4vCPU	コア/vCPU利用量 (Worker) ⁽²⁾	15～60分毎
OpenShift Data Foundation (OPPのアドオン)	256TB以下無償	1TB拡張パック	ODF Storage容量 ⁽³⁾	日次
Ansible Automation Platform	管理対象ノード数	管理対象ノード数		日次

(1) 終日の測定値の平均が3%を超えたノードを当日の「利用ノード数」として合計し、月次平均「利用ノード数」に対して課金します。

(2) 終日の測定値の平均を当日の「コア/vCPU利用量」として合計し、月次平均「コア/vCPU利用量」に対して課金します。

(3) 測定した日次ODF Storage容量の月次平均が256TBを超えた場合、1TB毎に課金します。(256TB以下のライセンスはOPPにバンドル)

(注) RHELをAMDプロセッサ搭載の物理サーバーで利用する場合、CPU利用率の代わりに「Server On/Off」で測定します。

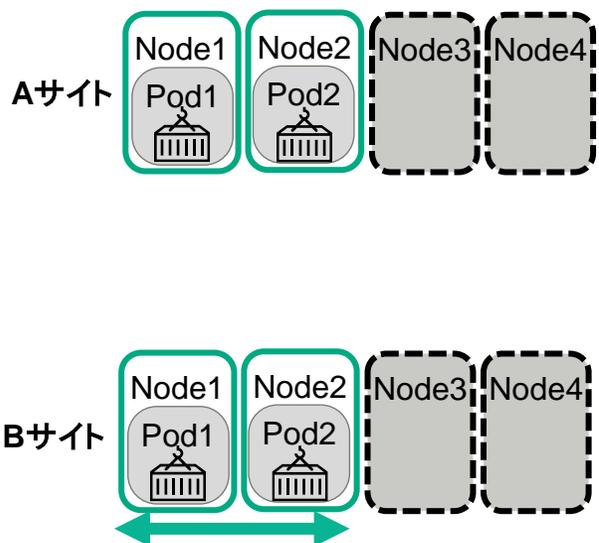
(*) 基本使用量(最低料金)が設定されます。

Pay-as-you-Goモデル(従量課金制)

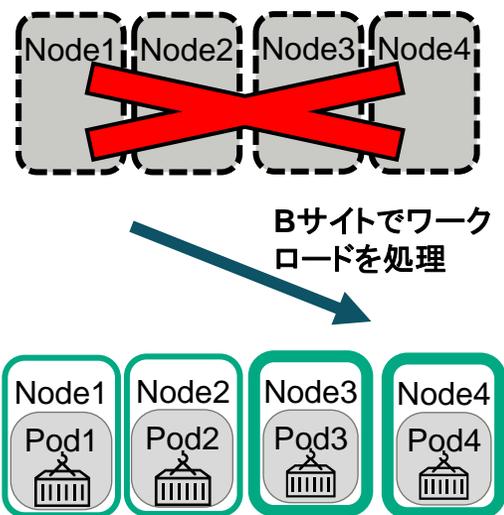
BCP、東西両現用システムにおけるHPE GreenLakeの活用例

東西両現用システムでの活用例

■ 通常時:両現用



■ BCP発動: Bサイトへ



■ 必要なサブスクリプション数

購入形態	通常時	BCP発動時
通常購入 -計画量に対する先払い	200% Aサイト:100% Bサイト:100%	200% Aサイト:100% Bサイト:100%
HPE GreenLake -利用実績に応じた後払い	100% Aサイト:50% Bサイト:50%	100% Aサイト:0% Bサイト:100%

東西両現用システム:一般的な通常購入の場合

- ハードウェア; 200%を準備。片サイトへの片寄せを考慮
- OpenShiftサブスクリプション: ハードウェアと同量分のライセンス(200%)を原則として事前購入

HPE GreenLakeの活用例:

- 通常購入では、通常時・BCP発動時に関わらず、原則、事前に**200%分のライセンス**が必要
- HPE GreenLakeでは、実際の利用量に応じた後払い方式つまり、ライセンス料は常に実際の利用量である**100%**



Red Hat OpenShift マネージドサービス

オンプレミス環境のRed Hat OpenShift運用・保守はワンストップサービスのHPEへお任せください！

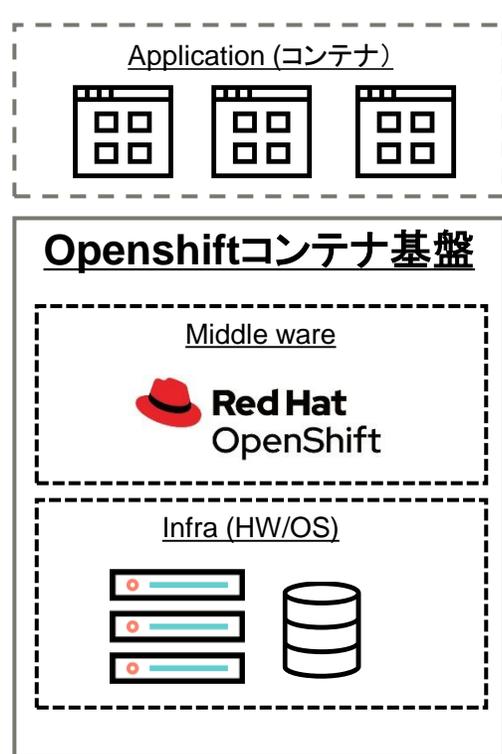
お客様開発部門

Openshift
・技術問い合わせ
・サービス要求

- HPEインフラ+Openshiftの運用保守をワンストップで提供
- HPEエンジニアが24x7リモート監視、オペレーションを実施
- Openshift環境の煩雑な定型業務を遂行、技術面をサポート



継続的な運用環境改善
運用自動化推進



HPE ITオペレーションセンター



障害調査・対応

Red Hat Openshift保守

HPE インフラ保守



維持管理

Openshiftパッチ作業
Openshiftバージョンアップ作業



オペレーション

障害調査・復旧対応
ノード離脱・再加入、停止及び再起動
ネームスペース作成、ユーザ作成
RBACの設定、ネームスペース毎のリソースの設定
コンテナイメージ配置
OpenShift設定変更、他定型作業



監視

Openshift環境の状態監視(24x7) & 障害検知



サービスデスク

Openshiftに関する技術問い合わせ対応

実績豊富なコンサルティングサービス

構築サービスにおけるBest Practiceをパッケージ化してご提供

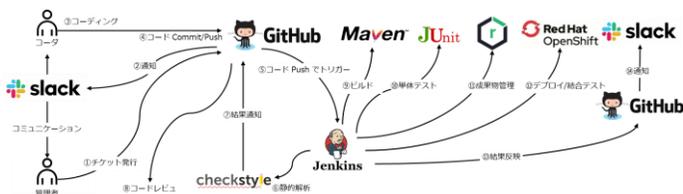
HPEのノウハウが詰まった構築サービス。3つのBest Practiceパッケージでコンテナプラットフォームの導入に向けたお客様のファーストステップをサポート

HPE コンテナBest Practiceパッケージ① OpenShift 開発プロセス自動化 支援サービス

サービス概要

Red Hat OpenShiftによる開発プロセス自動化に向けたCI/CD Pipelineの検証環境導入を支援致します

構成イメージ



※上記構成イメージは一例です。

HPE コンテナBest Practiceパッケージ② OpenShift 運用監視環境/導入 支援サービス

サービス概要

Red Hat OpenShiftによるサービスの可観測性と運用の自律化に向けた、運用監視環境の導入を支援致します

構成イメージ



※上記構成イメージは一例です。

HPE コンテナBest Practiceパッケージ③ OpenShift アプリケーション開発基盤 モダナイゼーション支援サービス

サービス概要

Red Hat OpenShift及びRed Hatミドルウェアを導入/連携することでアプリケーションのモダナイゼーションに必要な開発基盤の実現を支援致します。

構成イメージ



※上記構成イメージは一例です。

モダナイゼーションを加速するHPE GreenLake with Red Hat OpenShift

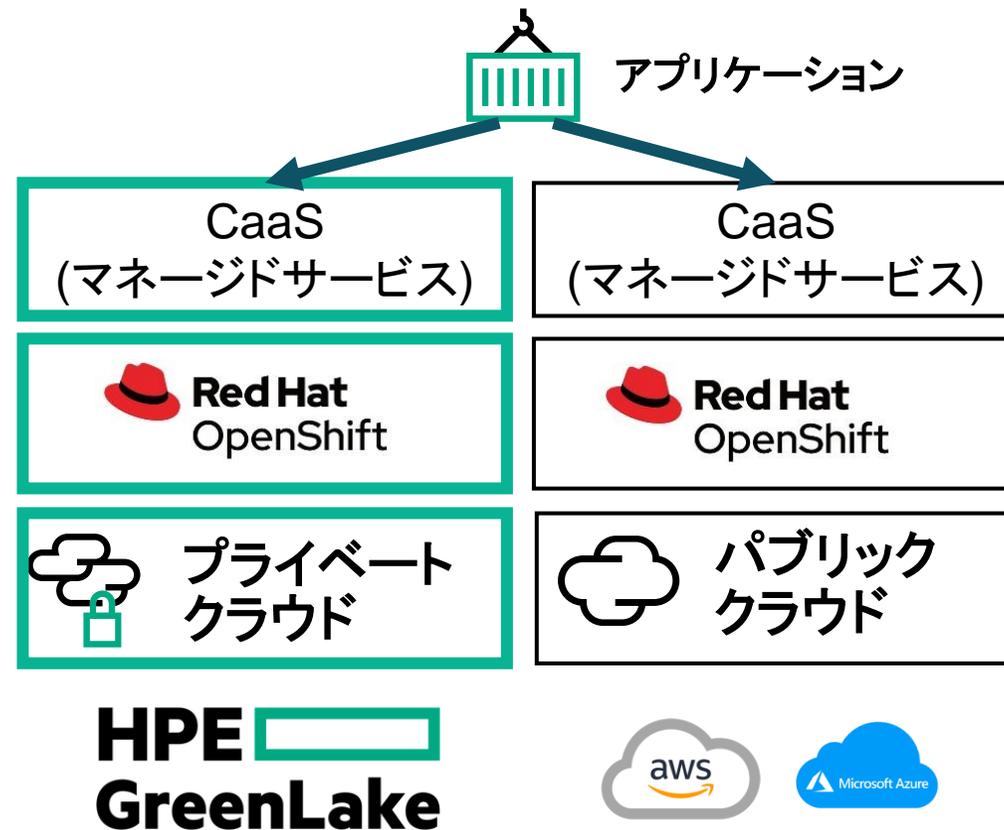


ポイント

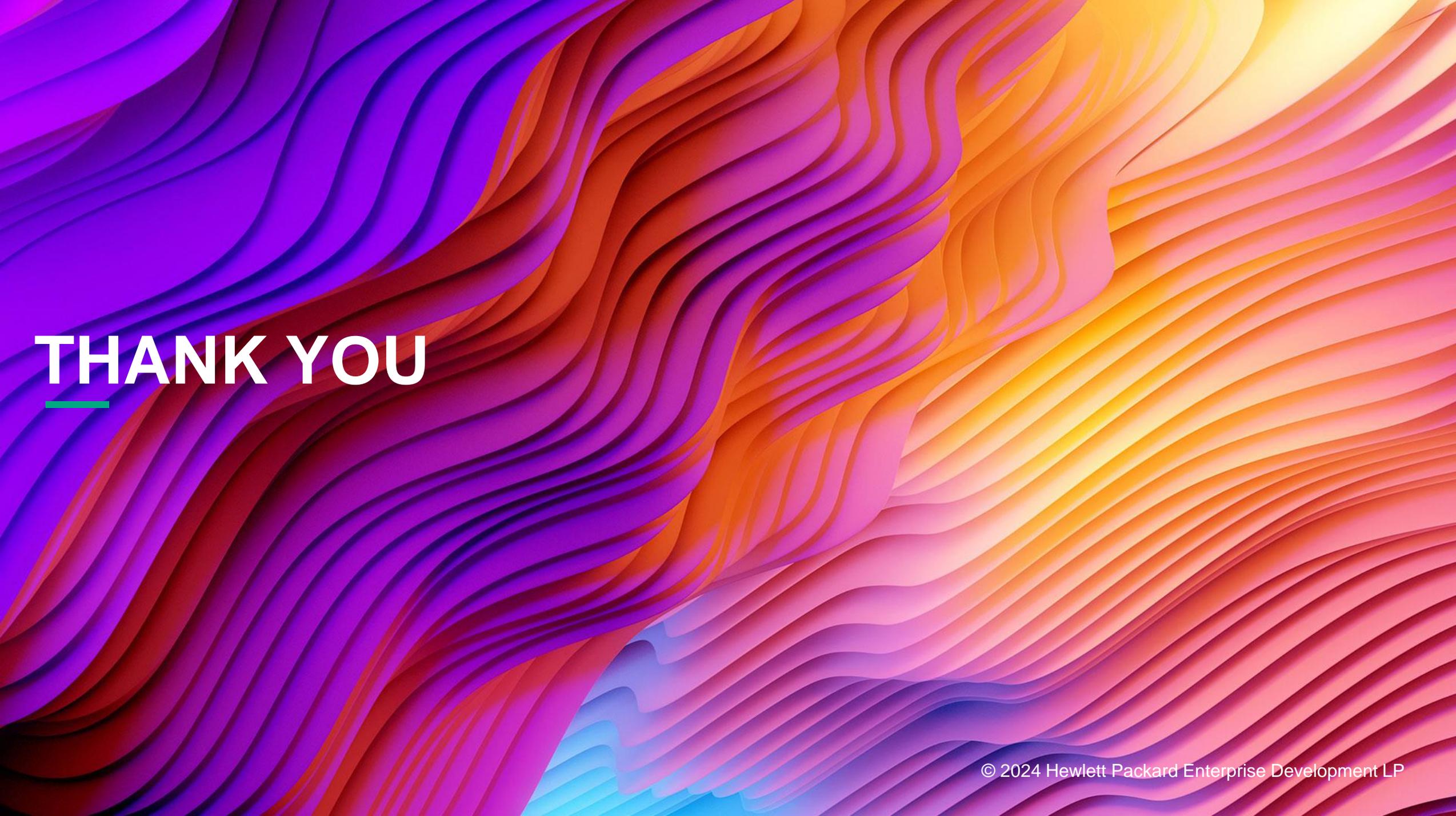
- 可用性/セキュリティ/コスト/パフォーマンスへの厳しい要件や長い移行期間により、パブリッククラウドだけでは解にならない。従って、ハイブリッド/マルチクラウドが今後も主流となる。
- 適切なプラットフォームを選択することで、各クラウドをサイロ化から解放し、ハイブリッドクラウド共通の運用モデルを構築が可能。

HPE GreenLake with Red Hat OpenShift

- クラウドネイティブなコンテナプラットフォーム
 - ✓ アジリティ向上
 - ✓ 自己修復(セルフヒーリング)
 - ✓ 環境依存の分離、可搬性向上
- 新しいプライベートクラウド
 - ✓ Hybrid Cloud & Sustainability , by design
 - ✓ 従量課金型モデルで迅速な増強/収縮
 - ✓ 手厚いサポート、マネージドサービス



クラウド共通の新運用モデル、お客様はモダナイゼーションにフォーカス

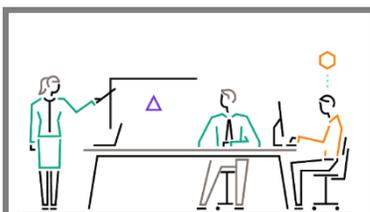


THANK YOU

HPE GreenLake for RedHat OpenShift Container Platform

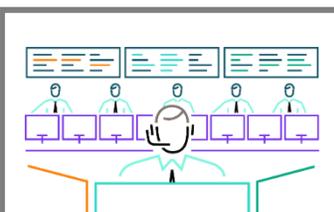
先進のコンテナプラットフォームをas-a-serviceでご提供

コンテナ環境やCI/CD、既存環境との統合構築から、ハイブリッドクラウドでの移行・運用支援に至るまで、幅広いプラットフォームやサービスをご提供



コンサルティング

- ・ 導入計画
- ・ 各種設計
- ・ 環境構築
- ・ 各種試験



マネージドサービス

- ・ 維持管理
- ・ オペレーション
- ・ 監視
- ・ サービスデスク

Scale up/down

Pay-per-use

Managed

Hybrid Cloud



HPE GreenLake

- ・ コンテナに最適なハードウェア
- ・ Pay-as-you-goモデルでサービス提供(従量課金*)



マネージドサービス

- ・ RedHat OpenShiftに関する万全な保守体制、マネージドサービス



HPE コンテナBest Practice パッケージ

- ・ 導入から構築までコンサルティングサービスを提供

- 過去のベストプラクティスをベースとして、コンサルティング部隊が幅広くご支援いたします。
- コンサンプションモデル活用で、オーバープロビジョニングを削減し、初期費無しでスモールスタート。
- ハイブリッドクラウドにおけるインフラ構築やコンテナプラットフォーム環境維持に関する運用支援をご提供いたします。

(*) 基本使用量(最低料金)が設定されます。

Red Hatソリューションを、Pay-As-You-Go (PAYG)で提供

- 従来Red Hatソリューションは、必要な数量、期間にわたるサブスクリプションを前もって購入する必要がありました。
- Red Hat Subscriptions in HPE GreenLakeでは、毎月、Red Hatソリューションの実際の利用量に基づいてお支払いいただきます。(使用量に対する後払い*)

Red Hat Subscriptions in HPE GreenLake

HPE - Red Hatアライアンス



Red Hat



Hewlett Packard
Enterprise



CUSTOMER

- お客様の実際の利用料をメータリングツールを用いて、常時計測。
- 毎月の計測結果をもとに計算した料金を、翌月請求。

HPEにて、2nd Levelまでの保守を提供します。
(OEM RHELと同様)

(*) 基本使用量(最低料金)が設定されます。

HPE – Red Hat両社協調による万全の保守サポート体制

HPE GreenLake with Red Hat TAMとHPE Managed Service

